ご使用方法

【ブラシ部】

●ブラシ部を水に浸け、水を振り切り、舌表面にあて、手前の方向に引くように使用して下さい。

※詳しい使用方法は、裏面をご参照ください。

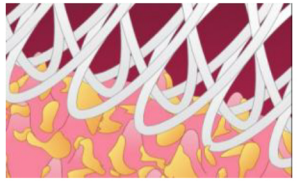
凸面で舌の中心を、
凹面で舌の両脇を
みがいてください。



【マッサージボール】

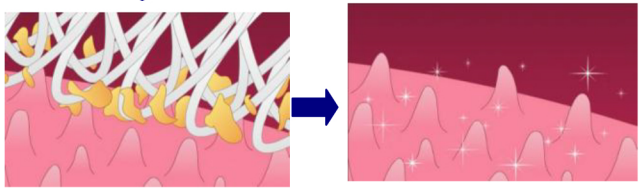
●ハンドル部後尾のマッサージボールで、あごの内側を刺激することで、開口困難な要介護高齢者などに対する開口促進。

※歯科医師の指導のもとに行ってください。



汚れを絡め取る新発想

●極細ナイロンループ繊維が舌乳頭の間に入り込んだ舌苔を絡め取る構造。



お手入れ方法

●ご使用後は、流水で汚れを洗い流し、湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。

●熱湯での消毒や洗浄も可能ですが、長時間熱湯内に放置しないでください。水道の蛇口を指で押さえ強い水圧で洗うと、より一層汚れを落とす事ができます。

お取替えの目安

【ブラシ部】

●使用後のお手入れにより異なりますが、ブラシ面の繊維が毛玉状に硬化したり、ブラシ面が極度に黄化し汚れたらお取り替えの目安です。

【ハンドル部】

●ジョイント部分がゆるくなったらお取替えください。

※脱着方法：ハンドルのジョイント部をブラシ部にまっすぐに“パチン”と音がするまで押し込み、外す場合も同様にまっすぐ引き抜いてください。

脱着が固い場合は、熱いお湯にて 20 秒程温めて下さい。

※事故防止のため、固めに設計されています。

ご使用上の注意

●ご使用前に、ブラシ部とハンドル部が抜けないことを確認してください。

●スムーザーを強くゴシゴシこすらず、気持ち良い圧力で、なでるようにご使用ください。

●ブラシを奥に入れすぎると、はき気が起こることがあります。また舌の奥の方ほど味を感じるとてもデリケートな舌乳頭があり、体調のすぐれない時や舌が荒れている時は舌乳頭に傷をつける恐れがあります。奥に入れすぎず、優しくみがいてください。

●万が一口腔内に異常があらわれたり、ブラシ繊維が合わない体質の方は使用を中止してください。

●本体が破損したり、傷がついた場合には使用しないでください。

●口腔内清掃、及びマッサージ以外の目的で使用しないでください。

●小さな子供の手の届かない所に保管して下さい。

●浴室などの多湿な所での保管はしないでください。

オーラルソフトスムーザーW-1 プラス		
メーカー希望小売価格	基本セット	
	替えブラシ２本組	

SHIKIEN 株式会社
新潟県新潟市秋葉区新津四ッ興野 1735
TEL.0250-23-0141　www.w-1-shikien.co.jp

Oral SoftSmoother W-1 plus

オーラル
ソフトスムーザー
ダブルワンプラス

**ソフトでやさしく、
しっかり汚れをからめ取る
独自の極細ナイロンループ繊維と、
ノンフレームで凹凸形状の
全面スムーザー。**

**舌の汚れの除去の他、
口腔内全体を清掃できます。
更に、柄の先端でだ液分泌促進など
様々な機能をプラスした
多機能スムーザーです。**

SHIKIEN 株式会社

口臭の主な原因の 90%は舌苔（ぜったい）と云われています

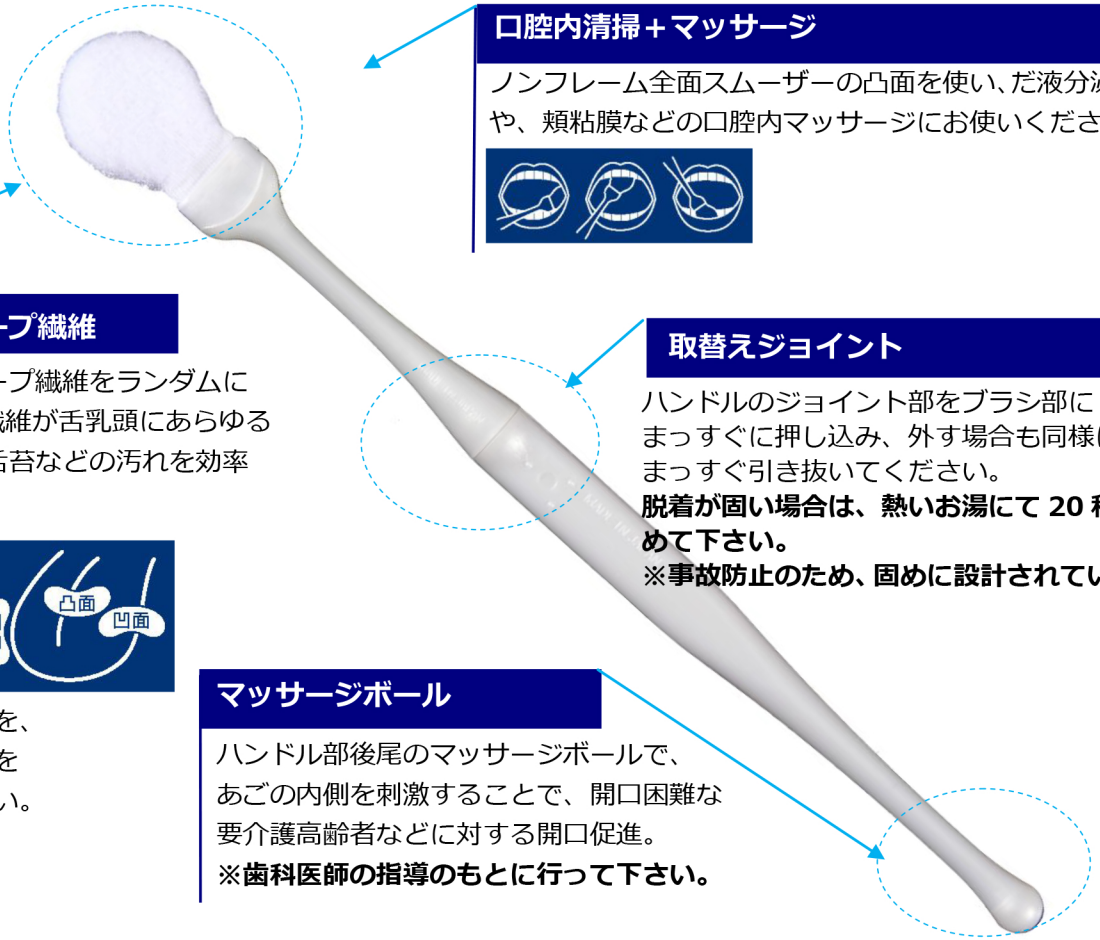


口臭の成分のほとんどが、舌にたまる食べかすのタンパク質が口の中の細菌で分解されて発生する揮発性硫化物です。
舌苔をきれいに除去することができれば、口臭を大きく減らすことができ、味を正く感じられるようになり、減塩につながります。

免疫力の維持、様々な疾患予防に舌みがきをおすすめします



口腔内には、数百種類の細菌が生息し、五千億個以上の細菌が存在するといわれています。舌の食べカスをエサとする虫歯菌・歯槽膿漏菌・カンジタ菌・肺炎菌・緑膿菌などが生息しています。これらの細菌が引き起こすトラブルに、呼吸器疾患・心臓疾患・脳疾患・感染症・アレルギー疾患などがあるといわれています。
　細菌のかたまりである舌苔を少しでも多く除去することが、免疫力を維持し、様々な疾患予防につながるといわれています。



口腔内清掃＋マッサージ

ノンフレーム全面スムーザーの凸面を使い、だ液分泌促進や、頬粘膜などの口腔内マッサージにお使いください。

舌に優しいループ繊維

極細ナイロンループ繊維をランダムに加工する事で、繊維が舌乳頭にあらゆる角度で入り込み舌苔などの汚れを効率良くからめ取る。



凸面で舌の中心を、
凹面で舌の両脇を
みがいてください。

取替えジョイント

ハンドルのジョイント部をブラシ部にまっすぐに押し込み、外す場合も同様にまっすぐ引き抜いてください。
脱着が固い場合は、熱いお湯にて 20 秒程温めて下さい。
※事故防止のため、固めに設計されています。

マッサージボール

ハンドル部後尾のマッサージボールで、あごの内側を刺激することで、開口困難な要介護高齢者などに対する開口促進。
※歯科医師の指導のもとに行って下さい。



新潟大学大学院医歯学総合研究科
歯学博士　井上　誠　教授

いま、舌磨きが注目されています。口腔ケアとしての歯磨きだけではなく、舌を清潔に保つこと＝舌ケアは口腔内の細菌を原因とする感染症の予防に有効なだけでなく、舌の表面にある食べ物の味を感じるためのセンサーの働きを保つためにも大切であると思われます。
高齢者の多くが罹患し、死亡原因の上位にあげられる肺炎の原因の一端を担っているのは、口腔内の細菌です。言い換えれば、普段から口腔内を清潔に保つことで、肺炎などをはじめとした口腔内の不衛生が原因によって起きうる多くの疾患も予防できると言う事になります。
　新潟大学医歯学総合病院では、要介護高齢者のみならず、多くの患者さまに対して舌ケアをはじめとした口腔ケアの重要性をお話し、口腔ケアの一環としての舌みがきを実践指導している関係から、県からの紹介を受け、新潟大学の研究の一環として SHIKIEN㈱と共同研究開発の結果、従来にない汚れが目に見えて取れ、舌を傷つけないソフトな使いごこちの舌ブラシが完成しました。
　　この舌ブラシを多くの方に知っていただきたくご報告申し上げますと共に、医療に携わっている者として予防医学、医療費削減に貢献でき、皆様の健康のお役に立てるものと自負いたしております。